

## 愛媛県伊方大川で採集されたオカメハゼ

山川宇宙<sup>1</sup>・鎗田めぐ<sup>2</sup>・水野晃秀<sup>3</sup>・井藤大樹<sup>4</sup>・清水孝昭<sup>5</sup>

<sup>1</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

<sup>2</sup>広島大学大学院統合生命科学研究科

<sup>3</sup>愛媛県立宇和島水産高等学校

<sup>4</sup>徳島県立博物館

<sup>5</sup>愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Eleotris melanosoma* オカメハゼ (TKPM-P 9311, 固定標本)

### 種の記録

Eleotridae カワアナゴ科

*Eleotris melanosoma* Bleeker, 1852

オカメハゼ (写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKPM-P 9311)

1 個体, 標準体長 18.6 mm, 伊方大川 (愛媛県西宇和郡伊方町湊浦: 北緯 33 度 29 分 17 秒, 東経 132 度 21 分 17 秒), 1999 年 11 月 8 日, 水野晃秀採集。

### 種の特徴

上記標本は, 前鼻管は長く, 先端は上唇に達する, 尾鰭が暗色を呈する, 眼下の横列孔器列数は 6 であり, 縦列孔器列 A を横断する 2 本の横列孔器列の間に横列孔器列がない, 鰓蓋部の上下の孔器列は後方で接するなどの特徴を有し, 明仁ほか (2013) および前田 (2014) のオカメハゼの標徴と一致したため, 本種と同定された。

### 備考

本種はインドー太平洋に広域分布し (明仁ほか, 2013), 国内では小笠原諸島, 神奈川県および熊本県から琉球列島にかけて記録されている (明仁ほか, 2013; 山川・瀬能, 2015; 熊本県希少野生動植物検討委員会, 2019; 山川ほか, 2020; 井藤ほか, 2022)。愛媛県では伊方大川と同じ宇和海側の千丈川 (八幡浜市) から 2 個体が標本に基づいて記録されている (辻・松田, 2011)。本報告は, 本種の標本に基づく同県 2 例目の記録になる。なお, 伊方大川が流入する宇和海は黒潮に直接面していないこと, 同日に採集された本種は上記標本 1 個体のみであることから (水野, 未発表), 少なくとも同個体が採集された時点では, 同

川において本種は定着していなかったと考えられる。

### 引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索: 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347–1608, 2109–2211.
- 井藤大樹・乾 隆帝・佐藤陽一. 2022. 徳島県におけるカワアナゴ属魚類 2 種の記録. 南紀生物, 64(2): 155–159.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会. 2019. 5. 淡水魚類. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (編著), レッドデータブックくまもと 2019–熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物一. 熊本県, 熊本. 295–310.
- 前田 健. 2014. オカメハゼ. 沖山宗雄 (編), 日本産稚魚図鑑 第二版. 東海大学出版会, 秦野. 1224–1225.
- 辻 幸一・松田久司. 2011. 愛媛県八幡浜市感潮域の魚類. 南予生物, 16: 12–38.
- 山川宇宙・碧木健人・津田吉晃・瀬能 宏. 2020. 三重県で採集されたオカメハゼおよびクチサケハゼ. 南紀生物, 62(1): 22–25.
- 山川宇宙・瀬能 宏. 2015. 神奈川県内の河川におけるカワアナゴ属魚類の分布. 神奈川自然誌資料, (36): 63–68.

(2023 年 2 月 20 日受付, 2023 年 2 月 21 日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)  
(Uchu Yamakawa, Meg Yarita, Kouki Mizuno, Taiki Ito and Takaaki Shimizu. 2023. Record of the sleeper *Eleotris melanosoma* from the Ikata-Okawa River in Ehime Prefecture, western Japan. NS Fieldnote, 23006)